

クリックマン見守り隊（香川県）

【発足の経緯・団体の概要】

私達の栗熊コミュニティは、人口減少と少子高齢化の流れの中、町を活性化するためには、①楽しい町であること②人と人とのつながりを強化すること③安全で安心して暮らせる町であることが重要と考え、「クリックマン（地元のキャラクター）シリーズ」でのまちづくりを行っています。

地元の栗熊小学校は、地域の北端に位置しており、小学生の足で40～50分かかります。下校の集団も徐々に小さくなります。通学路には農業用水路、野犬やイノシシも出没するなど、危険箇所が多くあります。

しかし、子供を守るべき保護者のほとんどが仕事を持っています。一方、高齢化が進んでいるとはいえ、栗熊には元気な中高年がたくさんいらっしゃいました。そこで、自治会や各種団体を通じて子供の見守りを呼び掛けた結果、約70名の方に御賛同頂き、一昨年、見守り隊を結成しました。本年4月の会員数は約100名で、発足時よりも約30名増加しています。男女比は7対3です。

【活動内容】

活動地域が田園地帯で広範であるため、青パトによる巡回だけでは不十分だと考え、散歩立哨部と農作業部を設けました。隊員全員に黄色のベストを配布し、活動時に着用してもらっています。青パト部は2人のペアで週3日、下校時刻に合わせ約1時間、校区内をクリックマンの歌を流しながら巡回します。農作業部は、田んぼの作業をしながら子供達に手を振ったり、声掛けをしています。農作業のない時も家の横に出て手を振ります。子供達から挨拶が返ってくると、子供達の心は地域の大人達が育むという実感と喜びが沸いてきます。

また、地域の絆を深める工夫を3つしています。

1つ目は、クリックマンの歌です。コミュニティのテーマソング『みんなのクリックマン』を作りました。作曲は専門家、作詞はコミュニティの役員が行いました。子供達が歌うクリックマンの歌声は青パトにより地域の隅々まで運ばれ、町を明るく元気にしています。住民にもよく認知されており、「曲が聞こえてくると見守り隊の皆さんの頑張りが目に浮かび、自分も頑張ろうという気持ち



クリックマン見守り隊発足の経緯

クリックマン誕生経緯

- 平成17年
栗熊コミュニティが発足
- 平成25年
地域のシンボルマークを制作
- 平成26年
シンボルマークを「クリックマン」と命名
～「クリックマン」の誕生～



取組内容



が沸いてくる。」という声もあります。
 2つ目は、毎年、小学校の入学式当日に、新
 入生と保護者に対し、クリックマンとクリッ
 クマン見守り隊を紹介する対面式を実施を
 していることです。また、新学期に合わせ、子
 供達は安全な登下校の決意表明をし、私達は
 子供達を守る決意表明をした上で、大パレ
 ードを実施しています。

3つ目は、見守り隊の立て看板の設置です。
 「クリックマン見守り隊 この地域は防犯パ
 トロール実施中」と書かれた防犯看板を幹線
 道路沿い7箇所に設置しました。栗熊を通る
 と黄色いベストを着た人やクリックマンの看
 板がよく目に付くと言われていています。地域
 の連帯感を感じられる一方で、犯罪者も含め、
 栗熊地域以外の方の記憶に残り、犯罪抑止等
 にもつながると考えています。

私達は、今後とも「クリックマンの歌」の
 ように、楽しい町、安全安心な街を目指して、
 クリックマンとともに頑張りたいと思
 います。

※ 「みんなのクリックマン」は、youTube
 で公開しています。

その他の工夫

人材の確保

参加しやすい組織
りっしょう
 (青パト部、散歩立哨部、農作業部)



地域との絆を深める工夫

対面式の実施

- 入学式当日、新入生と保護者
 が隊員と対面
- 親しみをもってもらうためクリッ
 クマンのマーク
 を紹介



地域との絆を深める工夫

大パレードの実施

「児童を守る!!」という決意を
 新たにして、夏休み明けの下校見
 守り活動に合わせ、200人を超える
 規模でパレ
 ードを実施



地域との絆を深める工夫

防犯看板の設置



幹線道路沿いに
 7カ所設置

